



人生で何をつかむのか？

下記のうち、2つまでは手に入るが、
同時に3つ全部は無理だといえます。
では、どの2つを選びますか？

FAME
名声

FORTUNE
財産

FREEDOM
自由



「自由」もいろいろ

- 日本国憲法で保障された自由
 - ❄️ 思想、良心、信教
 - ❄️ 集会、結社、言論、出版、通信
 - ❄️ 居住、移転、職業選択、国籍離脱
 - ❄️ 学問、婚姻
- 貧困、欠乏の恐怖からの自由
 - ❄️ 健康で文化的な最低限の生活
- 苦痛、危険、不慮の死からの自由



Statue of
Freedom



Statue of
Liberty



考慮すべきグローバル・リスクは？

- 💧 国家崩壊、革命
- 💧 戦争、テロ攻撃
- 💧 大事故
 - ❄️ ライフライン途絶

- 💧 社会不安
 - ❄️ 食料不足
 - ❄️ 資源の枯渇
 - ❄️ 世界的な不況

- 💧 天変地異
 - ❄️ 自然災害
 - ❄️ パンデミック
 - ❄️ 人命・財産の損失





解決には…

- 💧 法による規制
- 💧 社会制度によるインセンティブ付与
- 💧 市場メカニズムによる解決
- 💧 技術革新による解決

もし持ち物が金槌だけなら、すべての問題が釘に見えるだろう。(アブラハム・マズロー、1908-70)

If all you have is a hammer, everything looks like a nail. (Abraham Harold Maslow, 1908-70)

東京大学で何をどう学ぶのか？

部局横断
教育

多様な分野の専門家と協創し、すべての人が自尊心と自己尊重感を持って暮らせる持続可能な社会を構築できる能力を身につける

先端的な
専門
教育



正しいとは何か

この宇宙の基本原理

何のために生きるのか

私たちはどこから来て何者でどこへ行くのか

人工環境の仕組み

分厚い
教養教育

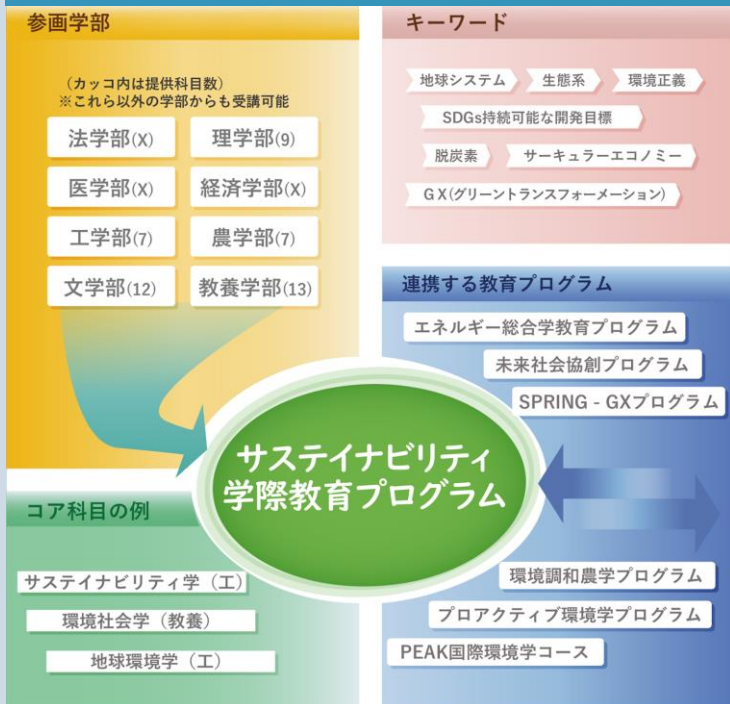
令和6年度 新規開設

学部横断型教育プログラム 「サステナビリティ学際教育プログラム」 Interdisciplinary Education Program on Sustainability

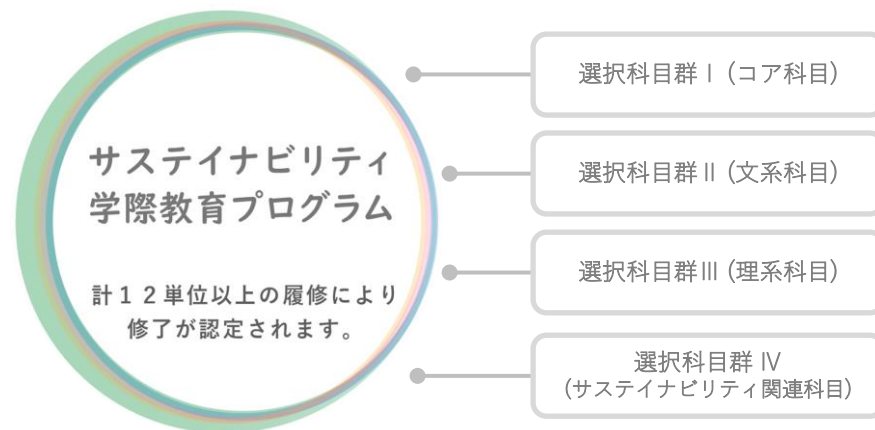
趣旨

持続可能（サステイナブル）で平和なより良い未来社会を実現が求められる中、カーボンニュートラル、循環経済、自然共生社会へ向けた技術や社会制度に関する広範な知識を備えるのは、文理や専門を問わず、すべての本学の卒業生に求められる資質です。本プログラムは、卒業後それぞれの分野の専門家として社会で活躍する人材に対してサステナビリティにかかわる素養を付加し、社会のすみずみにそうした人材を輩出することでより良い未来社会の実現への貢献を目指します。

プログラムの概要



プログラムの構成



計12単位以上を取得し、修了証の交付を希望する場合は、UTASにて修了証発行の申請手続きを行います。修了証の申請時期は、学部卒業・大学院修了（博士課程満期退学を含む）する学期の始めとなります。

参加方法

Web登録

ニュースなどを受け取るためにweb登録を強く推奨します。

履修方法

所属学部の科目は所属する各学部で通常通りの履修手続きになります。他学部科目は他学部履修の手続きが必要です。



プログラムの詳細についてはこちらのホームページをご確認ください。

<https://utccs.utokyo.ac.jp/program/>



WINGS CFS

World-leading Innovative Graduate Study Program
Co-designing Future Society

「未来社会協創」 国際卓越大学院

- ◆ 学位記に修了を付記
- ◆ 世界最高水準の専門教育
理想の未来を描き、その実現を目指して時には自ら先頭に立ち、時には多様な分野の卓越したリーダー達と協創してイノベーションを実現し、その社会実装を実現できる高度な知のプロフェッショナル人材を育成する。
- ◆ 卓越RA等経済的支援
- ◆ 全学プログラム(修博一貫)
- ◆ 各学年30-35名
- ◆ 申請募集中
 - ❄ 研究科、専攻は問わない
 - ❄ 博士の学位取得を目指す者
 - ❄ 修士(1年次・2年次)、博士(1年次・2年次)
 - ❄ 詳細はWebサイト参照

<https://cfs.t.u-tokyo.ac.jp/guidelines.html>
- ◆ 博士課程ではSPRING-GXとも連携

グローバルな気候問題解決に向けて、分野横断型の気候変動研究および気候と社会共進化の研究を展開

背景

- 気候変動の問題は自然科学を超えて工学、人文・社会科学にまたがる**地球規模の複合的課題**となって久しい
- 学内には関連分野で**世界レベルの研究者が多い**が、**部局・研究者間の連携が不十分**

設立の目的

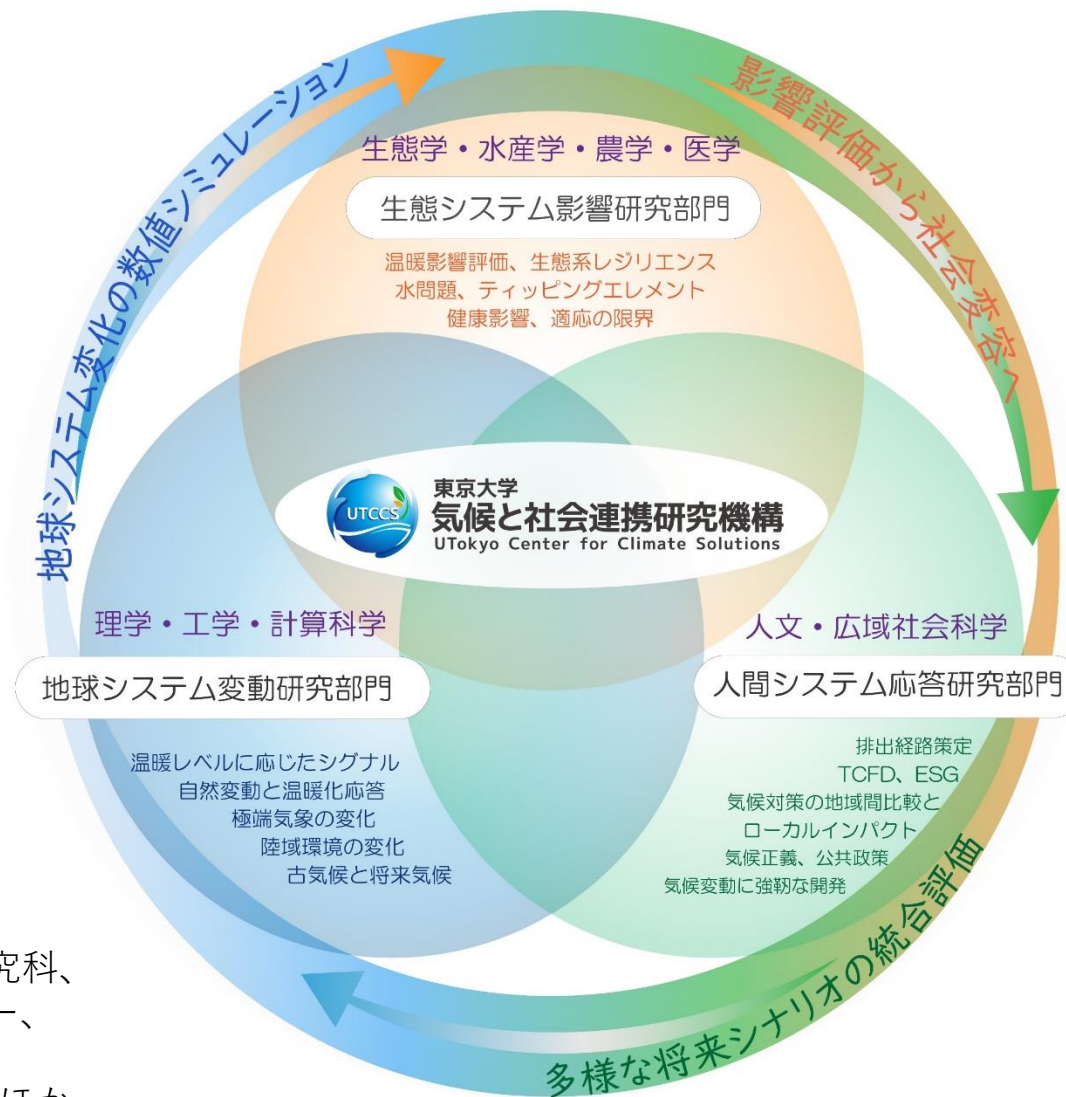
- 科学的エビデンスに基づき、**気候変動問題を克服する社会の在り方を模索**する研究活動を展開
- 分野を超えて本学の学知を結集する拠点の形成**
- 個々の持つ国際ネットワークを駆使し、**次世代の研究者が世界で活躍できるような国際拠点を構築**
- 東京大学のGX推進に協力し、広い視野をもつ若手人材を教育**

期待される成果

- 地球システム変動の科学的エビデンス提供
- カーボンバジェット推定
- 「気候と社会の科学」創成
- 気候変動の農業・水産・生態系サービス・健康等への影響と適応限界の解明
- 気候正義など公共政策論、サステイナブル社会デザインなど

機構の体制

- 機構長 沖大幹教授（工学系研究科）
- 主管部局 大気海洋研究所
- 参画部局 工学系研究科、理学系研究科、総合文化研究科、新領域創成科学研究科、公共政策大学院、東洋文化研究所、生産技術研究所、先端科学技術研究センター、未来ビジョン研究センター、農学生命科学研究科、医学系研究科
- 外部協力機関（予定） 海洋研究開発機構、JAXA、国立環境研究所、京都大学ほか





これから

- 学術的に秀逸で、やりがいがあり、社会に貢献する学問は沢山ある。
- 課題を見定める能力を具備しよう。
- 大前提の疑い方を学ぼう。
- 誰も答えを知らない、解があるかどうかもわからない問題に挑戦しよう。
- 高校まででは習わない学問がある
- Anthropocene(人新世)の科学
 - ❄ Realな(現実の)自然 ≠ /pristineな(手つかずの)自然
 - ❄ 人間社会と自然環境の相互作用
 - ❄ 抽象・一般 → 具体・固有の事象

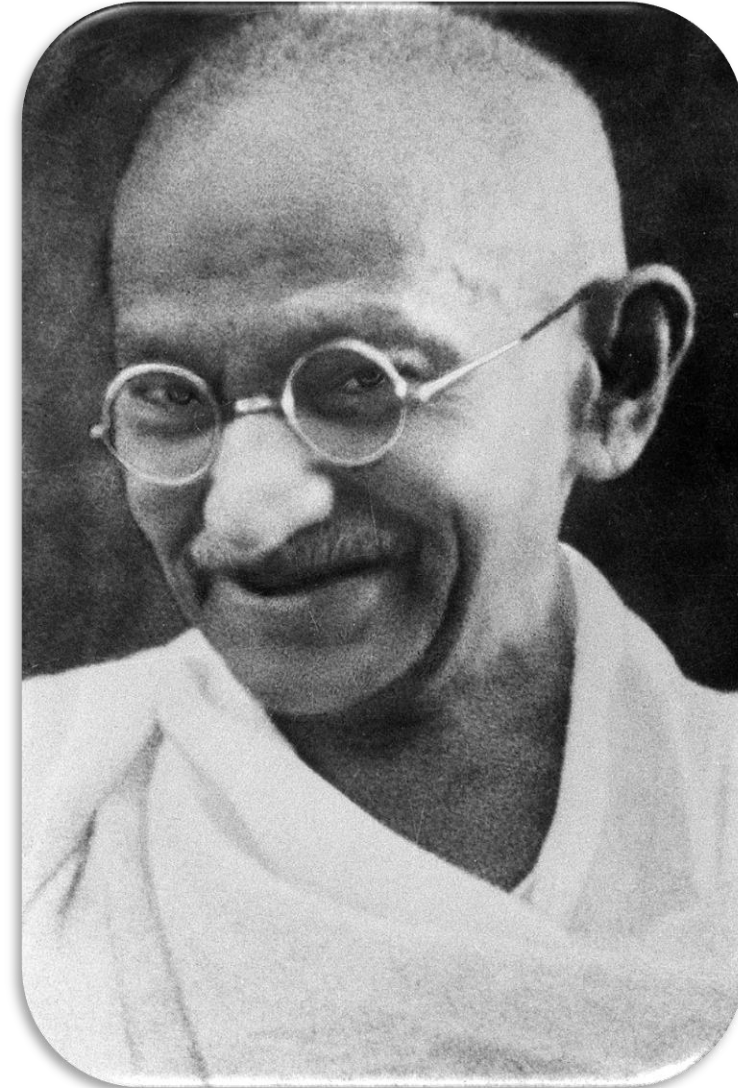


**明日死ぬと思って生きよ。
不老不死だと思って学べ。**

(マハトマ・ガンジー、1869-1948)

Live as if you were to die tomorrow.
Learn as if you were to live forever.

(Mohandas Karamchand Gandhi, 1869-1948)



https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/thumb/b/d/d1/Portrait_Gandhi.jpg/375px-Portrait_Gandhi.jpg

良き人生のため
「知的基礎体力」
を身につけよう。